

海外安全対策情報（2024年4月更新）

1 治安情勢

（1）2023年中、ドバイ及び北部首長国内においてテロ事件の発生は確認されていません。

当地では、治安機関において、高度な治安対策がとられており、2011年以降本格化した摘発により、国内におけるテロ組織はかなりの程度弱体化しているとみられます。

他方、報道では、テロ組織に関与したとされる容疑者の裁判がしばしば報じられるなど、今なおテロ関連組織及び過激思想に感化された個人による活動が認められています。

（2）当地が位置している中東地域においては、高い緊張状態が続いています。特に、ガザ情勢等を受け、2023年10月以降、一部のテロ組織が、イスラエルや欧米のほか、当地を含む中東諸国の関連権益等を標的にするよう、繰り返し呼びかけていることなどから、テロや暴力行為が発生する脅威が増大しています。

（3）現在のところ、当地において、日本人及び日本権益を標的とした脅威情報は確認されていませんが、単独犯によるローンウルフ型テロや、一般市民が多く集まるレストラン、ショッピングモール、公共交通機関等のソフトターゲットを標的としたテロが世界各地で頻発しており、こうしたテロの発生を未然に防ぐことは困難です。

テロはどこでも起こり得ること、日本人も標的となり得ることを十分に認識し、テロ等に巻き込まれることがないよう、「たびレジ」、海外安全ホームページ、報道等により最新の治安情報の入手に努め、状況に応じて適切かつ十分な安全対策を講じるよう心掛けてください。

2 犯罪情勢

（1）犯罪の傾向

当地の治安状況は比較的安定していると言われているものの、犯罪の発生件数や検挙件数に関する明確な統計は公表されていません。当地の報道等によれば、以下のような犯罪が当地で発生していることですので注意が必要です。

- ・高級住宅地の戸建て家屋を対象とした強盗殺人事件
- ・犯罪集団による強盗・窃盗
- ・女性や子供（男児及び女児）を対象としたわいせつ事案
- ・観光客が多い場所でのスリ
- ・薬物の密輸・所持・使用

（2）当地における詐欺の手口

上記の犯罪のほか、特に近年では、様々な手口の詐欺が横行しており、SNS等を通じた詐欺被害の発生も多く、当局が被害防止のための啓発を行っています。当地で確認されている最近の詐欺の手口として以下の様な手口がありますので、十分注意してください。

さい。

- ・ドバイ国際空港を名乗り、ロスト・バゲージ（正しく目的地に到着せず、紛失扱いとなった預け荷物）の格安セールを騙る手口
- ・ドバイ警察を名乗る電話やEメール、SMSにより交通違反金の納付を迫る手口
- ・偽のRTA（当地の道路交通局）のウェブサイトで、No1 Card（当地のICカード乗車券）のチャージ（お金の入金）と称して現金を詐取する手口

上記のほか、従来から横行している当地政府機関関係者等を名乗り、身柄拘束や銀行口座の凍結等の可能性を示唆して不安を煽る手口、賞金当選や投資・起業の支援と称して高額報酬が得られることを示唆して射幸心を煽る手口も引き続き横行しています。

また、SNSやインターネットの交流サイト等で知り合った人物が恋愛感情を利用して言葉巧みに、ドバイ国際空港での税関トラブルに係る費用や日本に渡航するための費用の借用等を申し出た上で、送金させ、その後、連絡が取れなくなるトラブルも引き続き多く報告されています（いわゆる国際ロマンス詐欺）。

当地では様々な手口の詐欺が横行していることを理解の上、引き続き詐欺に対する高い警戒を維持してください。

3 その他在留邦人、邦人企業が注意すべき事項

王族批判、債務不履行、婚姻関係にない男女の性的関係、同性愛関係、女装、無許可の募金活動、相手の承諾を得ない写真（動画）撮影等、日本では必ずしも犯罪とされていない行為が当地では処罰の対象となる場合があります。過去には、撮影禁止区域で許可を得ずに撮影禁止とされている施設を撮影したため、在留邦人が警察に身柄拘束されています。当地のルールを正しく理解し、無用なトラブルに巻き込まれないよう注意してください。